

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171400963		
法人名	有限会社トリノ		
事業所名	グループホームあい		
所在地	函館市昭和町3丁目29番47号 (電話) 0138-62-2246		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月29日	評価確定日	平成20年3月17日

## 【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.1人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造鉄板	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	28,000~36,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 300 円
	月額	38,000 円	

### (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	3	要介護2	6
要介護3	2	要介護4	6
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 83.4歳	最低 78歳	最高 90歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	亀田病院、平田皮膚・泌尿器科、吉田眼科病院、としま整形外科、上田歯科クリニック 他
---------	-------------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は全体的に明るい雰囲気があり、全職員で協議して制定した理念を基に熱意を持って日々のケアサービスを実践している。事業所の立地条件上、日常的に近隣住民と接することが難しい状況ではあるが、事業所の行事に近隣住民も参加するなど徐々に交流が深まってきており、今後も地域に溶け込んだ暮らしを実現できるような働きかけが期待される。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は特になし。現状を維持するとともに、「市町村との関わり」については、今後も交流を深める取り組みが期待される。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	年に2回全職員で自己評価を行っている。また、外部評価結果を真摯に受け止め、更なる質の向上に活かせるよう取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に運営推進会議を開催し、多数の構成員との意見交換を行っている。また、会議録を整備しており、事業所の運営に反映させるよう努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	3ヶ月に1度、家族会を開催し利用者家族同士の交流を図っている。また、その際に金銭管理について報告するとともに家族から意見・要望等を聞き適切に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の立地条件上、地域と日常的に交流を図ることは難しい状況であるが、花火大会やバーベキューなどの事業所の行事に近隣住民にも参加してもらうなど、地域との交流に努めている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気の中で利用者が力を発揮し、尊厳ある生活が送られることを盛り込んだ理念を全職員でつくりあげ、日々その実践に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の名札裏面に理念が記載されており、常に意識できるよう工夫している。また、月に1度のミーティング時に理念について話し合い、その実現に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の行事に近隣住民にも参加してもらうなど、地域との交流が深まるよう努めている。	○	今後も町内の行事に参加したり、近隣住民と日常的な交流を図るなど、地域との連携が密になるような取り組みが期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年に2回、全職員で話し合いながら自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を日々のケアサービスに活かせるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、そこで出た意見や案を事業所の運営に反映させている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日頃から保健所や市町村担当者に相談等で連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に1度事業所便りを家族に送付し、また毎月利用者の近況とともに、金銭管理についても報告している。また、利用者の状態に変化があった場合は、そのつど連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置したり、3ヶ月に1度家族会を開催するなど、家族が意見・要望等を伝えやすい工夫をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限に抑えている。なお、異動等があった場合は十分な引継ぎ期間を設け、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新規採用職員が保健所の講習を受ける機会を設けたり、新人職員用のマニュアル作成を検討するなど、人材育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会主催の研修会に参加した際に同業者と交流を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。また、他の事業所見学を検討中である。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族と面談し、話し合いを重ね、納得した上での入居となるよう配慮している。また、入居後も利用者が事業所の雰囲気馴染めるよう対応している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の力に応じて職員とともに作業を行い、ともに生活する中で学び合い、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入浴時や、夜間の見回りの際の利用者との会話などから一人ひとりの希望・意向の把握に努め、その人らしい生活となるよう支援している。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意向を考慮し、全職員で話し合いながら介護計画を作成している。また、家族の意見・希望を文書化し、記録として残すことを検討中である。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員の気付き等を探り入れながら、定期的に介護計画を作成している。また、利用者の状態変化に応じてそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院時の送迎や、家族が宿泊した際の対応など、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者が希望する医療機関への受診支援を行っている。また、事業所に看護師が常勤しており、利用者の健康状態を常に管理できる体制を築いている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期に向けての指針を定めており、事前に家族に説明している。また、日頃から家族を交えて話し合い、情報を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのない声かけを心がけており、利用者への対応は常に穏やかである。また、個人情報の取り扱いにも配慮し、適切に対応している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者の体調や意思を考慮し、一人ひとりの希望に沿った支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好を考慮した献立を作成し、力量に応じて食事の準備や後片付け等を職員と一緒にやっている。また、同じ食卓で職員は利用者とともに食事を楽しんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の希望や体調に合わせた入浴支援を行い、楽しんで入浴できるよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の力に応じた役割の支援を行っている。また、買い物・ドライブなど、一人ひとりの希望に応じた気晴らしの支援を行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や外食など、利用者の希望に沿った外出支援を行い、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は施錠しておらず、利用者が自由に外出できるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	定期的に避難訓練・消火訓練を実施するとともに災害時マニュアルを整備し、緊急時に備えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事・水分摂取量を毎日個別に記録しており、職員間で情報を共有している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間は明るく、廊下にはソファが設置されており、利用者が寛げるスペースが確保されている。また、季節毎の飾りつけにより、生活感や季節感を感じられるような工夫をしている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や生活用品が持ち込まれ、また写真が飾られるなど、本人が安心して過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。